

ENEOS国際学会発表支援事業報告書

2023年12月27日

工学部長・工学研究科長 殿

工学部・工学研究科修士課程 (どちらか○で囲む)

所属学科・専攻・回生 都市社会工学学科・専攻

修士2回生

学生番号

氏名 友松 広大



印文はサイン

私は、国際学会発表（ポスター発表含）を、下記のとおり行ないましたのでご報告いたします。

記

1. 参加期間 2023年12月11日 から 年12月15日

2. 会場（開催国・場所・機関等）

アメリカ合衆国・Moscone Center 747 Howard St, San Francisco, CA 94103・

American Geophysical Union

3. 発表成果（概要）

「Anisotropy of thermal conductivity and P-wave velocity related to porosity using sedimentary soft rocks taken from the Mio-Pleistocene forearc basin in the Boso Peninsula, central Japan」という題目で、熱伝導率と間隙率の関係、P波速度と間隙率の関係といった堆積軟岩の基本的な物性に関する実験結果と、熱伝導率とP波速度の異方性と間隙率の関係に関する考察を中心にポスター発表を行った。また、熱伝導率と間隙率の関係に関して考察を深めるためにSEMによる観察結果についても発表を行った。発表を聞いて頂いた方々から、物性値の異方性と間隙率の関係に関する研究のユニークさとSEM結果も含めた一連の考察に関してポジティブな評価を多く頂いた。一方で、考察を深めるための案なども数点頂き、異方性と間隙率の関係に関する議論を深めることができた。